



議会だより

ふなだ

No.188

3年/10

発行：山形県舟形町議会
令和3年10月22日



9月定例会概要・質疑応答	2P
決算審査特別委員会概要・監査意見書	4P
決算審査特別委員会質疑応答	5P
議案の採決状況	7P
町政を問う 一般質問に7議員	8P
議会報モニターアンケートより	16P
議会活動	18P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20P

舟形小学校5年生の稲刈り体験

何を思っているの…？
「僕の思いは…表紙のことば」
19Pにあります。



自動手洗いでコロナ感染対策に期待

議員 放課後児童対策事業で環境整備の内容は。
教育課長 消毒液等の消耗品と手洗い場の蛇口5か所の自動水栓工事で、備品は机4台、椅子10脚です。

学童保育所のコロナ対策

9月定例会

質 疑 応 答

議員 河川公園管理事業の芝刈り機330万、更新の内容は。
地域強靱化対策室長 2台のうち集草する芝刈り機が修繕困難で、対応年数も過ぎており、令和4年度の当初予算ではすぐに入荷が難しいようなので、今回の補正で計上いたしました。

芝刈り機の更新

議員 積雪調査委託料増の内容は。
総務課長 調査委託先を堀内地内での積雪量が異なることから、新たに松橋地区に1か所増やす内容の補正です。

積雪調査委託料

議員 若あゆ温泉改修の機械設備工事内容は。また、指名業者数と落札率は。
まちづくり課長 温泉浴槽の地下部分にある機械室で浴室と浴槽に関わる機械設備の経年劣化が著しいため、一部ボイラー等を地上へ設置するための工事になります。また、指名業者は3社で落札率は、96.9%です。

若あゆ温泉改修工事

議員 1工区と2工区に分けられているが、場所の詳細と工期はいつまでなのか。
地域強靱化対策室長 1工区はリサイクルプラザ側からスタートし、一番低くなったところまでで、2工区はその先になります。工期は令和4年3月25日までです。

太折地区避難道路



令和4年3月末の完成に向け工事が始まった避難道路

令和3年度 主な補正予算

<100万円以上の補正額を掲載>

- ▽ふるさとづくり応援事業 4493万円
(前年度ふるさと納税事業の精算による積立金)
- ▽社会資本総合整備事業 850万円
(国庫補助の交付決定を受けた事業費の増)
- ▽新型コロナワクチン接種対策事業 952万円
(新型コロナワクチン接種に係る経費の増)
- ▽緊急経済対策事業 527万円
(地方創生臨時交付金の配分に伴い、町内の事業者に対する支援の増)
- ▽河川公園管理事業 466万円
(河川公園芝刈り機の更新、水路浚渫に係る経費)
- ▽加入系光ファイバー網管理事業 346万円
(主要地方道舟形大蔵線道路拡幅工事に伴う、町有光ファイバーケーブル移設に係る経費)
- ▽道路維持事業 222万円
(町道の危険箇所解消に係る経費の増)
- ▽農業振興事業 152万円
(農業者が簡易な農地整備を行うための機械整備に係る補助金)
- ▽町土地改良事業補助金 100万円
(町土地改良事業補助金の増)
- ▽財産管理事業(財政) 1億3038万円
(財政調整基金積立金の増)

※財政調整基金とは…健全な財政運営のための貯金のこと。
年度間の財政不足に備えたり、災害等の予期せぬ支出に備えるための基金。

9月定例会
9月7日～14日

令和2年度決算を認定
総額87億5827万円

9月定例会は、8日間の日程で開催され、7名の一般質問に続き、令和3年度一般会計補正予算等を審議し、全議案を原案通り可決しました。令和2年度決算については、決算審査特別委員会を設置し審査を行い、本会議において承認しました。

主な審議された議案

9月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算
- 令和3年度介護保険特別会計事業勘定補正予算
- 令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 令和3年度公共下水道事業特別会計補正予算
- 令和3年度水道事業会計補正予算
- 令和2年度(繰越)舟形若あゆ温泉清流センター改修工事(機械設備)請負契約の締結(相手方…弘栄設備工業株式会社新庄営業所)
- 令和2年度(繰越)太折地区避難道路整備工事(第1工区)請負契約の締結(相手方…株式会社伊藤組)
- 令和2年度(繰越)太折地区避難道路整備工事(第2工区)請負契約の締結(相手方…丸充建設株式会社)
- 舟形町過疎地域持続的発展計画の策定
- 舟形町過疎地域持続的発展特別事業基金条例の設定
- 舟形町過疎地域固定資産税課税免除条例の設定
- 舟形町手数料条例の一部を改正する条例の制定
- 委員会付託の審査報告(請願1件)
- 令和2年度各会計歳入歳出決算の認定7件

全議案の採決結果は7ページに掲載



農耕作業車の比率が多くなり税収増

質 疑 応 答

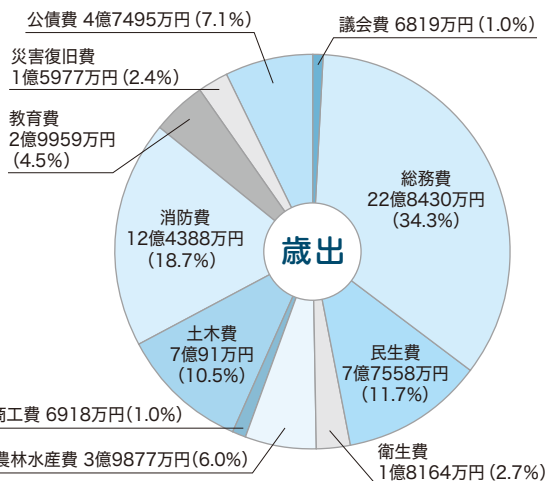
歳 入

軽自動車税の増

議員 軽自動車税の歳入が増えているが、軽自動車、農作業車のどちらが増えているのか。

住民税務課長 令和元年度と比較し農作業車が60台増加し、軽自動車は30台減少しており、農作業車の増が軽自動車税増の要因です。

歳出 (66億5676万円)



将来を見据えた財政計画に期待

委員長報告

決算審査特別委員会は、7会計について各委員から90件に及ぶ質疑がなされ、予算の執行状況を慎重に審査した結果、妥当と判断しました。財政健全化判断比率は全て基準内にあるが、なお一層、町民の生活向上と安全安心な町づくりのための財政計画に努めることを期待します。

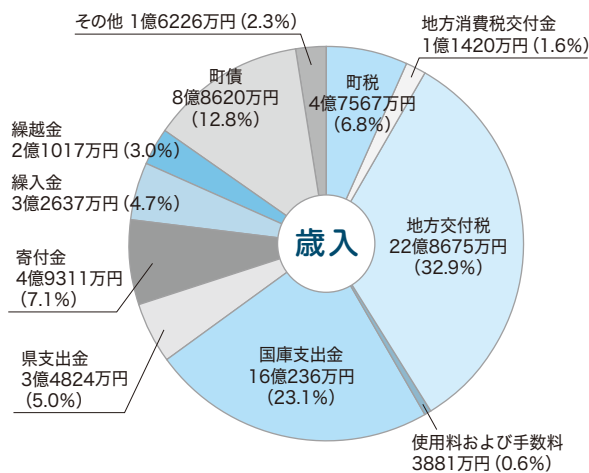
決算審査特別委員会



いとう きんいち
伊藤 欽一 委員長

一般会計

歳入 (69億4414万円)



歳入歳出差引額 **2億8738万円**

特別会計

会 計 別	歳 入 額	歳 出 額
国民健康保険事業	6億1973万円	5億8572万円
後期高齢者医療事業	7200万円	6991万円
介護保険事業	7億4729万円	7億1975万円
農業集落排水事業	2億5698万円	2億5426万円
公共下水道事業	1億8935万円	1億8497万円
合 計	18億8535万円	18億1461万円

水道事業会計

	収 入	支 出
水道事業※収益的収支	2億81万円	1億9787万円
水道事業※資本的収支	4457万円	8903万円

※収益的…水道水を作り、各家庭へ届けるための費用。
※資本的…水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

監査意見書

齊藤 徹 代表監査委員

審査の結果、決算関係書類は法令に適合し、計数は正確であることを確認しました。

また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は、正確であり、各項目の比率は全て基準内にあります。財政は健全であると認められます。

補足意見

平成30年8月豪雨時の教訓を踏まえ、災害時も機能を発揮する防災拠点施設並びに要配慮者が安心して避難できる福祉避難所が建設され、この事業により実質公債費比率は上昇しました。

しかし一方で、本財政投資により、重い二つの懸案が解消されることになり、その意義には大きいものがあります。施設建設の意趣に添って、大切に運営・管理に当たって頂きたいと思います。

監査委員監査の目的の第一たる「町民の福祉の増進に資する」という見地からの補足意見と致します。

小型除雪機購入補助事業補助金

地域住民の自助・共助の機運醸成と冬期間の除雪負担軽減を図るため、新規に購入する小型ロータリ除雪機、農業機械に装着するアタッチメントに対して、補助金を交付します。

- ▼対象／次の要件をすべて満たす方
 - ・町内に住所を有する方または町内に事業所を有する事業者
 - ・税等に滞納がない世帯または事業者
 - ▼補助対象／これから購入する除雪機で次の要件をすべて満たすこと
 - ・新車の小型ロータリ除雪機 (除雪幅が600mm以上) 等
 - ・購入後7年以上、補助対象者が所有すること
- ※今年度より購入先は町内外を問いません。
※詳しくは舟形町ホームページをご覧ください。
広報ふながたお知らせ版(令和3年9月24日号)一部抜粋

除雪機械購入補助金

議員 除雪機械購入補助金は、令和2年度まで町内販売所から購入する要件だが、令和3年度からその要件は無くなるのか。

まちづくり課長 町内販売所に限定した要綱を改正し、令和3年度から町外の販売所からも購入が可能になりました。

老人いこいの家

議員 老人いこいの家の修繕費の内容と、高齢者のために低い椅子等の備品を設置しては。

健康福祉課長 大広間のエアコン2台の修繕費です。また、必要な備品については、利用者の皆様と相談し検討していきます。

歳 出

高齢者へのシニアカー講習会

議員 シニアカーを使用する方が増加しており、転落等の事故も発生しているようだが、安全運転の講習会は実施しないのか。

住民税務課長 講習会については、駐在所と相談し検討します。

ふるさと納税

まちづくり課長 大広間を利用したお客様から入湯税をいただいておりますが、コロナの影響で大きく減少しました。上半期の状況は7月、8月東京宮城で緊急事態宣言、山形県の感染予防対策強化週間の影響で昨年より減少しています。

入湯税

議員 若あゆ温泉の入湯税が当初予算比66%減少しているが、コロナ感染症によるお客様の減少が影響しているのか。今年度上半期の状況は。

議員 ふるさとづくり応援寄付金が約4億9千万円と前年の3倍以上に伸びているが、経費を除いた金額はいくらか。

まちづくり課長 返礼品、役務費、消耗品、印刷製本等の総経費が約2億5千万円で、経費を除いた金額が約2億4千万円です。

令和3年第3回定例会 議案の採決状況		○賛成			×反対			㊄欠席		㊄退席		㊄除斥	
議案番号	議案名と主な内容	1 叶内昌樹	2 荒澤広光	3 伊藤欽一	4 小国浩文	5 石山和春	6 斎藤好彦	7 佐藤広幸	8 叶内富夫	9 奥山謙三	10 八鍬太	採決結果	
報告7号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※	
議案30号	令和3年度舟形町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案31号	令和3年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案32号	令和3年度舟形町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案33号	令和3年度舟形町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案34号	令和3年度舟形町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案35号	令和2年度(繰越)舟形若あゆ温泉清流センター改修工事(機械設備)請負契約の締結	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案36号	令和2年度(繰越)太折地区避難道路整備工事(第1工区)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案37号	令和2年度(繰越)太折地区避難道路整備工事(第2工区)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案38号	舟形町過疎地域持続的発展計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案39号	舟形町過疎地域持続的発展特別事業基金条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案40号	舟形町過疎地域固定資産税課税免除条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案41号	舟形町手数料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
認定1号	令和2年度舟形町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	認定	
認定2～6号	令和2年度舟形町特別会計歳入歳出決算の認定(5件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	認定	
認定7号	令和2年度舟形町水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	認定	
発議6号	豪雪地帯対策特別措置法改正に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
発議7号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
発議8号	米の需給調整に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	

※報告は採決を行わない。

※議長は採決に加わらない。

◆令和3年 第3回定例会 会期及び審議内容					※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施
会 期	会議種別	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～16:00)	傍聴者数	
9月7日(火)	本会議	・請願付託 ・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問3名 終了後、各常任委員会	8人	
9月8日(水)	本会議	・一般質問2名	休 会	10人	
9月9日(木)	本会議	・議案審議 (報告7号、議案30号～)	・議案審議(～議案41号) <決算審査特別委員会設置> 決算審査特別委員会	2人	
9月10日(金)	委員会	決算審査特別委員会		1人	
9月11日～12日(土日)	休会	休 会		—	
9月13日(月)	委員会	決算審査特別委員会		3人	
9月14日(火)	本会議	各常任委員会 全員協議会	・決算審査特別委員会報告 ・議案審議(認定1号～7号) ・付託審査報告 ・議案審議(発議6号～8号) ・閉会中の所管事務調査報告 終了後、広報常任委員会	0人	

鮎焼き機

議員 鮎焼き機5台中1台は若あゆ温泉で使用しているが、残り4台はどこにあるのか。また、どの程度の大きさなのか。

まちづくり課長 4台は旧光生園跡地の倉庫に保管しております。大きさは畳1枚分位です。

桜づつみ堤防

議員 桜づつみ堤防の桜が枯れてなくなっている所に植えかえはしないのか。また、枝が道路までさしかかっているが、伐採の考えはないのか。

まちづくり課長 堤防の桜ですが、植栽の予定はありません。枝の伐採はいやしの里事業で大きいものは伐採しております。



道路中央部分までさしかかっている危険な枝(富田)

消防団員報酬

議員 消防団員報酬の支給方法はどのようなになっているのか。

住民税務課長 団員報酬の支払いにつきましては、令和4年度より個人の口座へ振り込む方向で、現在検討しています。

小学校消耗品

議員 小学校管理費の消耗品費が増えているが、その内容は。

教育課長 消耗品の増額については、主に教師用の指導書の購入分で、昨年度学習指導要領が改訂されたため、その分の増額です。

文化財保護事業

議員 文化財保護委員会による町指定文化財2か所指定として検討を要する文化財4か所、その他文化遺産6か所の巡回場所と目的は。

教育課長 町指定文化財につきましては、新山神社の鰐うなぎ口と念仏の松、指定として検討を要する文化財4か所は長尾熊野神社の銀杏と絵馬、一の関のトチの木、長沢のセンの木、文化遺産は長沢八景の句碑のうち6か所になります。町内の文化遺産について現状把握を目的に巡回しました。

水道事業

議員 有収率減少の原因は。

地域整備課長 有収率の減少につきましては、漏水の増加が原因となります。各ご家庭の水道管ではなく、本管等の漏水によるもので、特に大きいのが、堀内橋の漏水になります。

※有収率：各ご家庭で使用していただいた料金の発生した水の量を取水した量で割った数値。



長沢八景の一角(長沢駅に建立された句碑)



第3町内の水害対策は

早急な工事着工を



最上小国川の逆流により浸水した寺下地区

質問 平成27年に声を上げ地元県議のご尽力をいただき、約6年の歳月がかかりましたが、今年度によりやく県において堤体工事が行われる見通しを示された様ですが、内水対策は町が行わなければならぬとの話を聞きました。舟形第3町内の安心安全の為どのような内水対策を行う考えなのか伺います。

町長 舟形第3町内の水害対策につきましては、寺下地区の浸水防止対策を県と町とで連携して進めております。県は、主要地方道新庄舟形線の新設し、最上小国川から流入する外水への対策を行い、町は、水路側の内水への対策を行います。堤防の設計はほぼ完了しており、規模は県道の新舟形橋より少し低い高さで

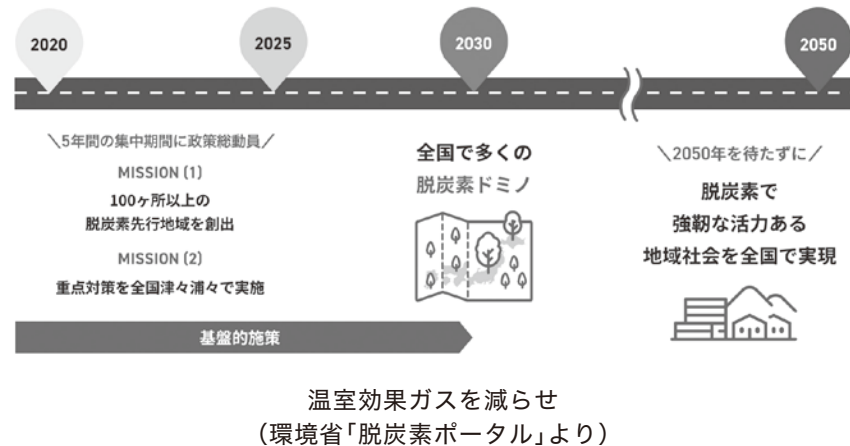
質問 国においては脱炭素に向け、各自治体や地域の取組が国全体の脱炭素化につながるよう、国と地方の連携をお願いし、目標達成に向けては、今後5年間で集中期間と位置付け、自治体や企業への資金支援に関して、今後基金や交付金など新たな制度をつくり、法整備を視野に検討を急ぐ考え

脱炭素社会への取組は再生可能エネルギーを活用

天端幅が4m、最上小国川と水路の合流部に、河川からの逆流を防止するため水位差で物理的に作動するオートゲートが設置されます。町が行う内水対策は、可搬式の水中ポンプでの排水を基本として、県から、内水の流入量とポンプの設置場所の検討をしていただき、それに基づき、町では、水中ポンプの性能や台数、電源の確保方法を検討しているところであります。

町長 町としては、町第7次総合発展計画の基本目標6「快適な暮らしを叶えるまち」において「循環型社会の推進」と「環境に優しいエネルギー政策の推進」を具体的施策に掲げ、家庭及び事業所

を示した。町としての様に取組んで行くのか伺います。



のゴミの減量化や資源化、太陽光パネルの設置や木質バイオオを利用したペレットストーブ、薪ストーブ等の再生可能エネルギーを活用した設備の導入に対する助成により脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行っております。今後国も国の動向を注視しながら取組みの内容を検討してまいります。

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずさることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(本会議での持ち時間は一人40分)

おぐに ひろふみ
小国 浩文 議員

9ページ

- ★1 第3町内の水害対策は
- ★2 脱炭素社会への取組は



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

10ページ

- ★1 舟形八幡神社本殿の建築物を町指定文化財に



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

11ページ

- ★1 堀内橋架け替え事業の進捗状況について



いとう きんいち
伊藤 欽一 議員

12ページ

- ★1 通学路の事故防止対策は
- ★2 町道等の危険箇所修繕を



さいとう よしひこ
斎藤 好彦 議員

13ページ

- ★1 高齢者等の情報弱者対策を
- ★2 複合災害に備えた体制強化を



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

14ページ

- ★1 縄文遺跡群と縄文の女神の結びつけは
- ★2 ICT技術の具体的な活用と課題は



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

15ページ

- ★1 舟形町農業の持続的発展を願って



一般質問に7人が登壇

町政を問う

- 〈一般質問 掲載要綱〉
- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。
- ★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。



あらわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

堀内橋架け替え事業の進捗状況について

今後は、節目節目で地域住民に説明する



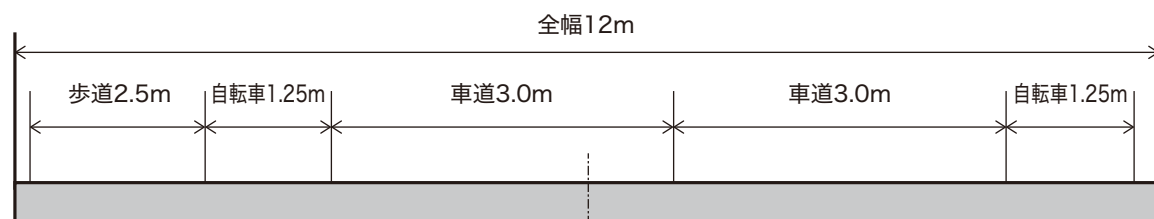
竣工から65年経過した堀内橋

新堀内橋の進捗状況については、令和2年度までで、測量・地質調査、道路の線計等を決定する予備設計、予備設計に基づく詳細設計を実施しており、今年度

新堀内橋の進捗状況については、令和2年度までで、測量・地質調査、道路の線計等を決定する予備設計、予備設計に基づく詳細設計を実施しており、今年度

町長 移動しなければならぬ方には、従来通り堀内で生活ができるように移転先として、旧堀内小学校グラウンドの半分程度を宅地造成にするプランニングを行っており、橋の架け替え事業計画に合わせて、町として整備を進めてまいります。

町長 移動しなければならぬ方には、従来通り堀内で生活ができるように移転先として、旧堀内小学校グラウンドの半分程度を宅地造成にするプランニングを行っており、橋の架け替え事業計画に合わせて、町として整備を進めてまいります。



早期完成が待望される新堀内橋路面のポンチ絵

質問 県で公表している新堀内橋は、総事業費35億円、平成30年度から令和12年度の事業予定で、橋梁の詳細は車道が片側3メートル、自転車道が片側1.25メートル、その他片側に2.5メートル幅の歩道が設けられて全幅で12メートルの立派な橋が計画されていますが、先の説明会は根拠地区側

だけの説明で事業全体の姿はまだ見えません。65年経過した堀内橋に再び異常が出ないのか、大雨時には集落が孤立する等、不安材料がいくつもあります。新しい橋ができるという期待はあるものの、現橋は大丈夫なのか、新堀内橋はどういう姿で、完成時期はいつなのか、事業の進捗状況について

町長 最初に現橋の安全性について、次のとおり点検・パトロールを実施し通行の安全を確保することを県から確認しております。道路法で義務づけられている5年に1回の点検で橋梁全体の安全性を確認することに加え、伸縮装置は特に注視が必要な箇所と位置づけ、1年に1回の点検を実施します。更に週2回の道路パトロール巡視を行い、異常・変状について注視し、通行の安全性を確認しています。

町長 移動しなければならぬ方には、従来通り堀内で生活ができるように移転先として、旧堀内小学校グラウンドの半分程度を宅地造成にするプランニングを行っており、橋の架け替え事業計画に合わせて、町として整備を進めてまいります。



さと ひろゆき
佐藤 広幸 議員

舟形八幡神社本殿の建築物を町指定文化財に

所有者の意向踏まえ客観的な文化的評価を調査



獅子が見守る町内会

教育長 平成30年の大雨による被災に対し、心からお見舞い申し上げますと共に、この度の修復再建に、並々ならぬ苦勞をされ、ご尽力された皆様に心より敬意を表します。舟形八幡神社は、新庄最上神社誌によれば、慶応3年（1867年）の舟形

町指定文化財の指定に係る手順としては、まず所有者からの文化財指定申請後に、教育委員会から文化財保護委員会へ諮問を行います。文化財保護委員会は必要な調査研究を行い、教育委員会へ答申いたします。教育委員会は答申を受けて指定し、所有者へ通知する流れとなります。調査については、舟形町には専門分野の技師がおりませんので、県の文化振興・文化財活用課の指導をいた

だしながら、客観的に文化的評価のできる専門家として、県の文化財保護審議会委員や大学教授へ調査を依頼することとなります。調査研究については、所有者の意向もあ

ると思いますので、確認を取りながら、今後も、限りある貴重な文化財の保存と伝承そして活用に取り組んでまいりたいと思います。

質問 舟形八幡神社本殿は、紫山の名工、松本栄作氏の請負で明治29年9月15日に総ケヤキ造りで新築された、教育委員会発行の「舟形町の文化遺産」に記載されています。現代社会はとかく新しい物や考え方に溢れ、古い価値あるものを忘れがちになります。町においても明治建築を現在に伝える物件はほとんど存

在しないと思います。この機会に町指定文化財に指定出来る可能性について調査を開始すべきと考えます。また、第七次総合発展計画の「文化財の保存と伝承」にあるような、文化財保護委員の育成や住民が学ぶ機会の場としても有効な場所になると思いますが、教育長がどのように考えるか質問します。

町指定文化財の指定に係る手順としては、まず所有者からの文化財指定申請後に、教育委員会から文化財保護委員会へ諮問を行います。文化財保護委員会は必要な調査研究を行い、教育委員会へ答申いたします。教育委員会は答申を受けて指定し、所有者へ通知する流れとなります。調査については、舟形町には専門分野の技師がおりませんので、県の文化振興・文化財活用課の指導をいた



新旧が融合され修復が終わった神社本殿



さいとう よしひこ
齋藤 好彦 議員

高齢者等の 情報弱者対策を 防災行政無線で早めの避難誘導に努める



情報弱者に配慮した戸別受信機

【質問】 近年の情報化社会のなかで、高齢者等の情報弱者は災害時の避難活動に大きな影響を及ぼすと言われている。こうしたなか、本町が他自治体に先駆けて町民生活の利便性向上を目指した、デジタル化推進計画事業の活用などにより、地域、官民連携による高齢者等の情報弱者対策が必要であると考えます。町長の考えを伺います。

【町長】 令和元年度の防災行政無線デジタル化改修事業を計画する際、各家庭に設置する端末を、スマホ・タブレット方式にすべきか、これまでと同様の戸別受信機にすべきかの検討を行いました。導入コストは高くなりますが、「情報弱者」に配慮して、戸別受信機を全戸に導入しました。戸別受信機には、高齢者等「情報弱者」対策に万全を期

【質問】 長期化が予想される感染症対策と、いつ起こるか予測がつかない自然災害の複合災害に備えた対策が急務であり、より一層の体制強化を図る必要がある。また、複合災害に備えた防災訓練の実施、自主防災組織、防災計画の見直しなども必要であると考えます。町長の考えを伺います。

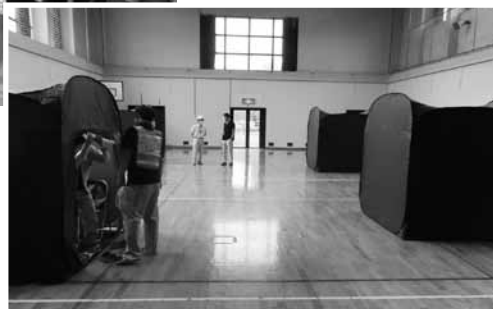
【町長】 複合災害に備えた体制強化を図る見直しを図る

【町長】 今年度のコロナ禍での避難訓練は、福祉避難所「てとて」と堀内農村環境改善センターにおいて、町で策定した各々の運営マニュアルに従い避難所開設訓練を実施しました。昨年の訓練の反省を踏まえて幾分改善しましたが、受付時に時間を要することや、どうしても密になってしまうこ

となどが課題として挙げられ、プライバシーシールドや簡易ベッドの設置に想定以上に人員を要することも判明いたしましたので、今後、対処方法を検討して参ります。また、警戒レベルの改正に伴い、防災計画は改訂する必要がありますが、その他の事項も含め、今後必要な見直しを図って参ります。



本番さながらの避難所開設訓練



プライバシーシールド設置訓練



いとう きんいち
伊藤 欽一 議員

通学路の事故防止対策は 地域住民の理解が必要



鉄筋網の蓋がかけられた通学路

【質問】 今年6月に、千葉県八街市において下校中の児童の列にトラックが突っ込み5名が死傷するなど痛ましい事故が後を絶たないことから、文部科学省、国土交通省及び警察庁の3省庁が連携し、通学路における交通安全を一層確保するため、緊急点検の実施依頼が出さ

【教育長】 この度の緊急合同点検については、①見通しの良い道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりにくい箇所や大型車の進入が多い箇所、②過去に事故に至らなくてもヒヤリハットの事例があった箇所、③保護者、見守り活動者、地域住民等から町村への改善要請があった箇所、の3つの観点を加味した対応が要請されています。町では、過

去に報告された通学路等の危険箇所の点検報告について、現状など再度確認をし、9月末を目途に対応策が必要な箇所の抽出、10月末を目途に対策案を検討します。

鉄筋網については、排雪作業での利便性もあることから、地元住民の理解を得る必要があります。除雪に係らない箇所については検討します。また、登校時間帯はスクールゾーンに設定されていますが、道幅も狭く、通り抜け道路として利用する方も多く、住宅やアパートの建築により移住された方も増えていますので、下校時間帯についても、スクールゾーンの設定ができるかどうか検討します。

**町道等の危険箇所
修繕を
降雪前に修繕を完了**

【質問】 下水道のマンホール、水道の弁蓋等の不具合は降雪前まで修繕が必要ではありませんか。県道56号線で車道路肩部が約100mにわたり段差が生じ危険であるが、早急に修繕するよう県に要望

【町長】 下水道マンホールの高い場所や除雪作業時の危険箇所は、毎年降雪前に現地を把握し随時修繕を行っています。県道56号線の段差は、現地確認したので早急に修繕してもらおうよう県に報告しました。



10cmの段差が生じている県道56号線(一の関地内)

する考えはあるか。



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

舟形町農業の 持続的発展を願って 引き続き本町農業の持続的発展を目指して取り組む



生産コスト削減のため大区画ほ場の整備を実施

質問 意欲ある担い手の育成・確保、経営基盤を強化するため法人化を進めることについての状況は。

町長 経営体数は平成26年度の販売農家数430から令和元年度では339となり、5年間で91経営体減少しました。同期間における認定農業者数は103から105となり2経営体増加、法人化

質問 収益性の高い園芸作物の品目構成と水稲依存度の割合はどうなっているのか。

町長 園芸農業の推進品目構成は、本町の重点振興作物のうち、ねぎ、にら、きゅうり、アスパラガスの4品目を中心になります。水稲依存度は平成27年度の72%から令和元年度では65.8%となり、米の依存度が6.2%減少しています。今後の対策については、園芸作物栽培を推進します。特に県団地化計画策定済みのねぎについては、より一層の推進を図ってまいります。



大規模農業が可能になったほ場

質問 将来本町に水田を残すためには、ほ場整備を行うことが必要だと思います。全農用地面積に占める、ほ場整備が完了した面積と採択されている面積の割合はどうなっていますか。農業従事者の高齢化や後継者の減少の中で、持続的発展を達成

町長 稲作など農地集約型の農業は、作業効率の良い大区画ほ場の連担化は必要不可欠と考えます。整備完了箇所が21箇所、513ha、現在事業採択され実施中が2箇所、117ha、採択に向けて話し合いがされている箇所

するために、ほ場整備を強力に進める必要があると考えます。各項目の実績と今後の対策についてお聞きします。

が2箇所、142haとなっています。全水田面積1410haに占める完了と採択されている面積の割合は44.7%、採択に向けて話し合いがされている箇所も含めると54.8%となります。現在、町独自の計画である「舟形町農業ビジョン」の策定に着手しており、本町農業の持続的発展を目指して取り組んでいきます。



縄文の女神を世界遺産とともに
(文化庁「北海道・北東北の縄文遺跡群」より)

町では縄文の女神を何とか故郷に帰ってきてもらいたいという強い思いで『おかえり女神プロジェクト』を作り、検討を進めているところであります。世界遺産登録された17遺跡群の関連施設への情報発信や連携を模索し、時代の変化に遅れないよう情報収集し、縄文文化の魅力発信に持続的に取り組んでまいります。

町長 国のGIGAスクール構想の下、端末を整備し、通信環境も強化しました。学校と家庭間での効果的な活用については、家庭への持ち帰り学習によりタブレットに触れる場面を小学校では増やすことができました。通信環境に関係なく使用

質問 第5世代移動通信システムで現段階でのICT技術を利用した新たな行政サービス等の活用は進んでいるのか、今後の町としての目標や方向性

町長 連携自治体である東京都港区と5G環境下で舟形中学校の生徒等との交流を行う予定ですが、5G環境下での新たな行政サービス等の活用については、これから進めていくところです。現在の4Gの環境下でも行政手続のオンライン化などできることは多くあるので課題解決に向けてデジタル化を進めてまいります。



質問 ユネスコ世界遺産委員会では、7月に『北海道・北東北の縄文遺跡群』の世界文化遺産登録を決定し、東北地方の縄文に関する事が注目されている中、国宝縄文の女神の活用の視点を遺跡群と共有していく考えはないのか伺います。

町長 今度の世界遺産登録は4道県知事及び関係自治体の首長が提案をとりまとめ協定書を締結し取り組んだ結果、縄文時代の1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を今に伝える貴重な文化遺産が世界に認められると伺っております。町では縄文の女神を何とか故郷に帰ってきてもらいたいという強い思いで『おかえり女神プロジェクト』を作り、検討を進めているところであります。世界遺産登録された17遺跡群の関連施設への情報発信や連携を模索し、時代の変化に遅れないよう情報収集し、縄文文化の魅力発信に持続的に取り組んでまいります。

質問 小・中学校にタブレット端末が導入されたが、全学年の持ち帰りやコロナ禍での休校を余儀なくされた場合における学校と家庭をWEBで結ぶ取組みに進捗はあったのか。



5Gでつながる都市との交流

と課題について伺います。



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

縄文遺跡群と縄文の女神の結びつけは 魅力発信に取り組む

◆一般質問について（8～13ページ）

- ・移住より定住に力を入れてほしい。
- どの質問も大事な内容であると思う。1つデジタル化の促進について、8月12日から13日にかけて、インターネット回線の不具合により電話がつながらなくなり、修理の人に原因をきいたところ、予算がなく、安い部品を使っていることが理由のひとつにあった。ぜひ、予算確保をお願いする。
- ・議会のなかみがそのままのっている。グラフは良いと思う。
- ・過去10年間の舟形町出生数推移から旧舟形学区での出生数は増加しているものの他学区については、横ばいとなっている。移住者が旧舟形学区へ集中している事が予想できるが、他学区への移住者受け入れ支援拡大を検討していただきたい。

◆議会活動、ようこそ舟形町へ！について（16～17ページ）

- ・とても良い企画ページだと思うが、定住促進につなげるのであれば、町外の人にみてもらう工夫が必要だと思う。
- ・議員活動の予定や動きが分かる事は良い事だと思う。
- ・今後もコロナの影響は続くと思う。まだ多発していない今からコロナ感染しない対応、軽症で止める対応を先々から進めてもらえる様、予算含め検討願う。特に新方式かもしれないが、子どもたちの行事が行える舟形町であって欲しい。
- ・私のまわりでも舟形は住みやすそう（子育て支援等）という話を聞く。移住者へのPRと移住後のフォローはとても大事だと思う。
- ・新しいコーナーができ、人口が増えるといいと思う。
- ・舟形町は本当に子育てしやすい環境だと思う。もっとPRをする事で移住検討者に知ってもらえる機会を増やす必要があると感じる。

◆えがったなあ、町民の声、編集後記について（18ページ）

- ・中古農機導入補助金や除雪機購入補助金があることを知らなかったの、知れて良かった。
- ・新しい命はみんなを笑顔に思う。
- ・ダブったこともあるが、まーるいイメージで良いと思う。

◆議会・町に対する意見等、その他

- ・さっそくゴミステーションに乾電池の捨て場を設けていただきありがとうございました。ひだまりⅢとエスポワールの捨て場には、まだ乾電池の捨て場がないようなので、引き続きお願いします。
- ・コロナワクチンを推奨している意見が多くみられるが、打ちたくない人、打てない人もなかにはいると思うので、そういった方々が暮らしにくくなるようなことがない町にして欲しいと思う。
- ・臨機応変な対応をお願いします。
- ・1回目のワクチン接種を受けた。受付から終了までとてもスムーズに誘導してもらい、あっという間に終わった。2回目も安心して受けたいと思う。
- ・いつまでも町民のためにあって欲しいと思う。
- ・オリンピックを見ていて思ったが、スポ少や部活以外のスポーツも楽しめる施設があっても良いと思う。スケートパークやストリートバスケ、川を使ったスポーツ等、子どもたちの可能性は無限だと思う。

貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより



今回は議会だより187号（7月23日発行）に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

◆表紙について

- ・小1の娘が興味を持って眺めていた。来年は自分たちも鮎の放流ができるのが楽しみになったようだ。
- ・子どもたちにとって楽しい体験だと思う。
- ・お父さん、マスクしましょう。
- ・毎年見るこの写真はとても良い事だと思う。何年続いているのかわからないが、これからもずっと続けてもらいたい。
- ・いろどりが良く、行事参加で将来が楽しみ。内容紹介も良い。
- ・子どもたちの顔が見えなくて残念。

◆議会新構成決まるについて（2～3ページ）

- ・町外出身のため、議員さんの名前と顔が一致しない。（申し訳ない）顔写真を少し大きめに載せたわきに役職を記載してもらえるとわかりやすいと思う。
- ・みなさん協力して良い委員会にして欲しい。
- ・委員会の任期は何年なのか。議員の方々にも得意分野があると思うので、どんどん変えたりするよりは、得意な所で思う存分、力を発揮してもらいたい。
- ・専門性をもち、開かれた新構成。

◆定例会概要、質疑応答、採決状況表について（4～7ページ）

- ・災害復旧に力を入れてほしい。
- ・細かい予算の内容をしっかりとつっこんで質問してもらっていて、町のお金を1円もムダにしないよう努力してもらっていると感じた。
- ・様々な意見の集約度はどうか。
- ・成人式参加者PCR検査費用の助成（成人式事業）は、とてもうれしいと思う。安心して参加出来る成人式がむかえられるようになる事を心から願っている。

モニターさんのご意見にお答えします

- Q. インターネット回線の不具合により電話がつながらなくなり、修理の人に原因をきいたところ、予算がなく、安い部品を使っていることが理由のひとつにあった。ぜひ、予算確保をお願いする。
- A. 部品に関しては、内陸は統一した部品を使用しています。現在は仮復旧対応ですが、本復旧は10月末頃までに完了します。

数多くのご意見ありがとうございます。編集委員会で検討して改善できるところから行っていきたくと考えています。

引き続き、ご意見をお願いします。



●豪雪地帯対策特別措置法改正に関する意見書
●コロナ禍による厳しい財政状況に対処し
地方税財源の充実を求める意見書
●米の需給調整に関する意見書
(右記の意見書を政府関係機関に提出しました)

請願者
もがみ中央農業協同組合代表理事組合長
もがみ中央農協農政対策本部 本部長
安食 賢一

意見書

●9月定例会で審査した請願は次のとおりです。
●米の需給調整に関する請願

請願

山形国際交流プラザで
開催された第38回町議
会広報研修会に参加し、
グラフィックデザイナー
の長岡 光弘 氏による県
内16町村の広報誌に基づ
いてのクリニック形式に
よる研修を受けました。
他町村の広報誌へのアド
バイスや評価を、当町議
会だよりの紙面編集の参
考とし、町民にとってわ
かりやすい議会だよりづ
くりに努めていきます。



読んでもらえる紙面づくりを
町村議会広報研修会(令和3年7月21日)

産業振興常任委員会所管事務調査報告

災害時の緊急輸送路の確保

- 期 日 令和3年7月29日(木)
- 調査内容 都市防災施設整備事業松原(太折)地区
避難道路整備工事の調査
 - 調査場所と避難道路整備事業の概要
 - 舟形町富田地内
 - 延長:全長831.2m(新設部:約105m)
 - 幅員:全幅5.0m(車道4.0m)1車線
 - 概算事業費、約2億円
 - 地域整備課より説明
 - 所感
 - ①用地のほとんどが最上広域事務組合のため、避難道
路をどちらがどの様に管理するのか使用基準を明確
にする必要がある。
 - ②近年地球温暖化の影響で世界は勿論、国内におい
ても過去に類を見ないような甚大な災害に見舞われて
いる。今年度中に整備を進める短期集中の整備事業
での大量の盛り土について地盤が落ち着くのか懸念
があり慎重に取り組んでもらいたい。



総務文教常任委員会所管事務調査報告

所管する各課の主要事業の年間調査

- 期 日 令和3年6月22日(火)
- 調査内容 令和3年度所管各課の主要事業内容の説明
 - 総務課
 - (1) 副町長との意見交換
 - (2) デジタルファースト推進室(5Gについて)
 - 住民税務課
 - (1) マイナンバーカードの5月末までの取得状況報告、
今年度取得率向上の取り組み計画について
 - (2) 消防団員の確保と報償費、消防施設(防火水槽)
の管理計画について
 - 健康福祉課
 - (1) 100歳元気プロジェクトについて
 - (2) 保育料0~2歳未満児の段階的無償化事業について
 - 教育課
 - (1) 小中学校タブレット導入後の現状と課題について
 - (2) おかえり女神プロジェクト事業内容について
- 今後の進め方

各課が説明した事業が計画通りに行われたか、年度末
頃まで振り返りと成果を検証し、継続事業に関しては次
年度への課題の説明を受ける。

特に教育課(1)「小中学校タブレット導入後の現状と
課題」については、タブレット授業視察を実施し、進捗
状況の確認を行い、2月末頃に事業の振り返りと成果の
説明を受け、年間を通じ、継続した所管事務調査を行っ
ていく。

総務文教・産業振興常任委員会合同視察
(令和3年7月7日)



施設利活用について
説明を受ける
(舟形町福祉避難所
「てとて」)



停電時稼働する
自家発電設備
(舟形町防災センター)

舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会現地視察(令和3年8月18日)

新型コロナウイルス感染症対策対応臨時交付金事業と
して行われた、舟小ピロティ改修事業、放課後児童クラ
ブ換気設備設置事業、舟形町農村環境改善センター施設
環境整備事業の現地視察を行いました。



人工芝に改修された舟小ピロティ

議会だよりふながたの
表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近
な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法: 写真データを議会事務局へ持参するか
電子メールで送付してください。

■問 合 せ: 舟形町議会事務局 32-0030 (直通)
gikai@town.funagata.yamagata.jp

表紙のごとば
9月21日、舟形小学校5年生の児
童が秋晴の下、保護者の方も参加し
黄金色に実った実習田の稲刈りを体
験しました。
Q. 稲刈りで何思っているの?
A. 「春から育てた稲を一粒も落とさ
ないで刈り取るにはどうしたらいい
のかなあ。世田谷の学校に美
味しいお米を贈りたい」
米に寄せる思いと、児童交流への
思いが伝わってきました。将来一人
でも多く農業後継者が育つこと願
います。

次回の定例会は 12月7日(火)~10日(金) までの予定です。



シリーズ

えがったなあ

♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？

共通の友人がきっかけで知り合いました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうか？

自宅の庭で家庭菜園などをしながら、楽しくのんびり生活しています。

♥舟形町の良いところ・改善してほしいところは？

保健福祉サービスなどが充実している。

♥舟形町に望むことはありますか？

スーパーやドラッグストアがあったらうれしいです。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先) 舟形町役場議会事務局 ☎32-0030(直通)



今回は、舟形第3町内の
加藤 裕樹さんと結婚した、
最上町出身の佳子(旧姓:藤井)
さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。



最上広域消防本部 南支署長

石川 顕文 さん(野)

(議会より)

緊急援助隊の任務大変ご苦労さまでした。今後も議会として福祉避難所の利活用を注視してまいります。

私は、長沢地区野町内に住んでおり、昨年から福寿野にある消防署南支署に勤務しております。今年で、東日本大震災の発生から10年の節目を迎えました。当時私は、緊急援助隊員として被災地に派遣されましたが、あの悲惨な光景は、今でも忘れることはありません。近年、異常気象等により災害発生の頻度が高くなっていると感じます。

それに伴い、今年3月に福祉避難所「てとて」が開設しました。避難者を最大110名収容することができ、乳幼児専用の個室や、炊き出し室などが整備されており、県内でも類を見ない避難施設となっております。防災の基本である『自分の命は自分で守る』を皆さんが心掛けることで、自分だけではなく、家族を守ることに繋がります。

また、町民同士が日頃より災害についての共通認識、さらに備えをすることで、不測の事態に対応することができ、結果として災害に強い町ができるのだと思います。

編集後記

今年の秋は、大変好天に恵まれ黄金色に穂った稲穂の刈り取りも順調に進んでいるようです。

農家にとっては、稔りの秋も消費低迷の影響により大幅な価格下落が影をおとしています。

さて、10月4日第100代内閣総理大臣が誕生いたしました。衆院選も31日投票になるようです。

国内外に課題が山積しておりますが、コロナウィルスの一日も早い収束と、大きく傷ついた経済対策には、積極的な対応を望みたいものです。

(石山 和春 記)

発行責任者

議長 八 鍬 太
議会広報常任委員会

委員長 小 国 浩 文
副委員長 石 山 和 春
委員 伊 藤 欽 一
委員 荒 澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹